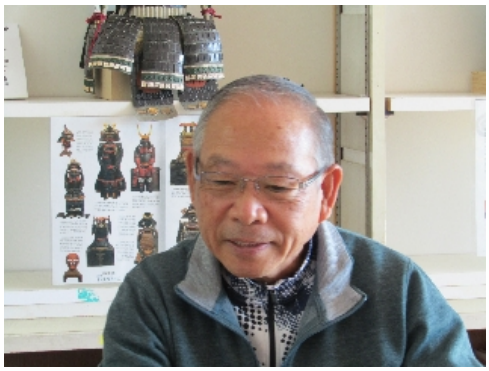
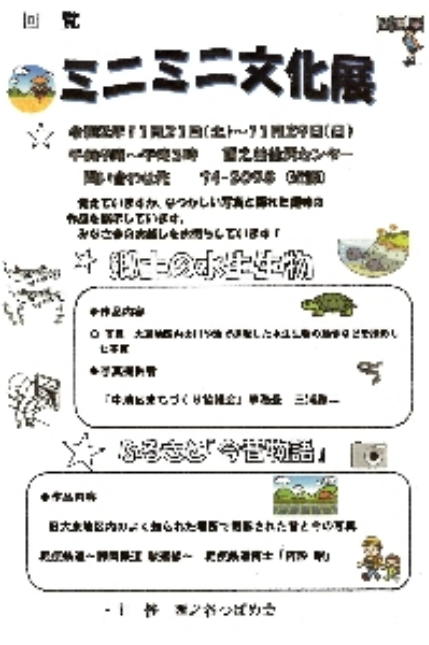
2020/11/17

ミニミニ文化展



近藤保雄さん

新型コロナウイルス感染禍で新しい生活様式を模索されている方は多いと思いますが、今回ご紹介する近藤保雄さんもその一人です。現在、近藤保雄さんは、掛川市中（旧大東町）で「中地区まちづくり協議会」のメンバーとしてご活躍されています。今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各町内会の祭事や色々な集いなどがほとんど中止になり、人と人の出会いが少なくなってしまいました。さらに、不要不急の外出は避けるようになり、出会いの場がなくなってしまいました。このような状態が、これ以上続くと高齢者の生活環境が悪化してしまい大変なことになると危機感を抱いた近藤さんは、地元（掛川市西之谷）の町内会（西之谷つばめ会）で「ミニミニ文化展」を企画し、令和２年11月21日（土）から町民が集まりやすい「西之谷住民センター」で開催することにしました。


回覧

ミニミニ文化展

ふるさと『今昔物語』

ミニミニ文化展の案内ビラ

＜展覧会の内容は＞

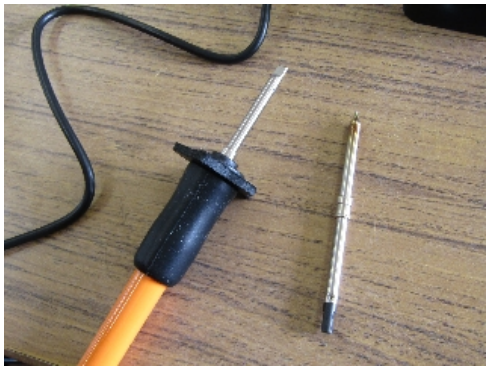
●「町民の作品展」
　〇町民の皆さんの作品を展示（絵画、写真など）
　〇昔懐かしい作品を展示（おじいちゃんの書いた書道、おばあちゃんの家計簿、戦時中の寄せ書きな
　　ど）
　〇個人の隠れた趣味などの作品を展示

●「郷土の水生生物」
　〇写真　大東地区内の川や池で採取した水生生物の動きなどを撮影した写真
　〇写真提供者　三浦謙二　氏（中地区まちづくり協議会　事務長）

●「ふるさと『今昔物語』」
　〇旧大東地区内のよく知られた場所で撮影された昔と今の写真
　〇軽便鉄道博士　阿形　昭　氏
　　・軽便鉄道～静岡鉄道　駿遠線～

●日時　令和２年１１月２１日（土）～２９日（日）　午前９時～午後３時
●場所　西之谷住民センター

　さらに、近藤さんは、個人的な趣味である「ウッドバーニング」をボランティア活動として、掛川市中地区内の3か所で町民のために教室を開催し、指導しています。まず、掛川市睦三会館では毎週木曜日に7名の方、そして掛川市千浜会館では第3木曜日に7名の方、さらに大東北公民館では第1金曜日に7名の方を指導しています。これは、掛川市大東北公民館の年間イベント活動の一環として取り組んでいるものです。今回は、大東北公民館の開催日である１１月６日（金）に、ウッドバーニング教室で元気に活動をされている皆さんを取材させていただきました。



電熱ペン

みんなで楽しく制作中！

舞妓さんの絵

髪を焦がして表現しました。

　ウッドバーニングとは、電熱ペンを使って木を焦がし、絵や模様を描く技法のことです。
　まず、作りたい作品の原画をトレーシングペーパーに写し、又はカーボン紙で板に下絵を写します。そして、電熱ペンでなぞって描いていきます。電熱ペンを鉛筆と同じように持ってゆっくり動かすと、濃く太い線になり、速く動かすと薄く細い線になります。
直線を描くポイントは、一定の速さを保ちながら力を抜いて、電熱ペンを動かすことです。曲線はゆっくりと少しずつペン先を動かして描きます。

文字を入れることもできます。

完成した作品

ニスを塗って完成です。

象の赤ちゃん

ニスを塗って仕上げているところ。

作品の完成です。

さらに、塗りつぶしをして濃淡を付けたりしながら、遠近感や立体感を出すことができます。
最後に、絵の部分にニスを塗って仕上げをします。落款をうって完成です。
※自分の好きな言葉や俳句、短歌などを入れたりして楽しむこともできます。
・道具　電熱ペン5,000円程度（ペン先　四角いもの、丸いもの）
・材料　板350円、ニスなど

東海道53次　日本橋（近藤さん作）

東海道53次　品川（近藤さん作）

鳥獣人物戯画（近藤さん作）

浮世絵（近藤さん作）

近藤さんは、現在、東海道53次の絵にチャレンジしているところです。
現在2点が完成しています。
完成した作品を見てみたいですね。

お問合せは近藤保雄さんまで　TEL090－7955－7622

取材：小笠・榛南地区担当　生きがい特派員　髙井　豊